



ID: 1198

科目名	障がい児保育【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	川間 弘子			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	必修		
授業概要							
1. 障がいの特性について知る。2. 乳幼児期の発達について知る(運動、認知、摂食) 3. 障がいの特性および支援について知る。							
到達目標							
障がいの特性、支援の方法について理解し、具体的支援ができるようにする。							
授業計画							
第1回	乳児期の運動発達						
第2回	乳幼児期の発達(運動、認知、言語)						
第3回	乳児期の摂食機能面の発達						
第4回	知的障がい児の特性と支援について						
第5回	運動障がい児の特性と支援について(脳性まひ児を中心に)						
第6回	運動障がい児の特性と支援について(脳性まひ児を中心に)						
第7回	発達障がい児の特性と支援について(自閉症)						
第8回	発達障がい児の特性と支援について(自閉症)						
第9回	発達障がい児の特性と支援について(学習障害)						
第10回	発達障がい児の特性と支援について(学習障害)						
第11回	発達障がい児の特性と支援について(注意欠陥/多動性障害)						
第12回	発達障がい児の特性と支援について(注意欠陥/多動性障害)						
第13回	発達障がい児の特性と支援について(高機能自閉症)						
第14回	発達障がい児の特性と支援について(アスペルガー症候群)						
第15回	発達障がい児の特性と支援について(アスペルガー症候群)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
平常点(出席、授業態度、提出物)、試験、レポート			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			10	10	10	70	
授業外学習			テキスト、教材				
自主的なボランティア等により、体験を通じて学習したことを定着できるようにすること。			資料配布				
参考書			受講生へのメッセージ				
			自主的ボランティア、実習などで実際子どもと接して欲しい。				
キーワード							
運動障がい 知的障がい 発達障がい 正常発達の流れ							